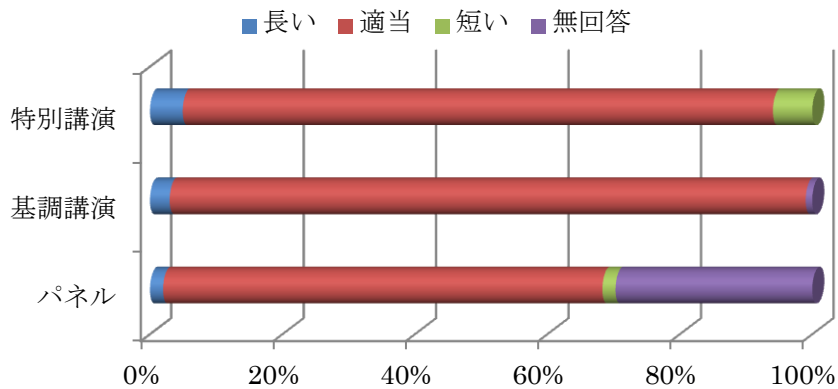
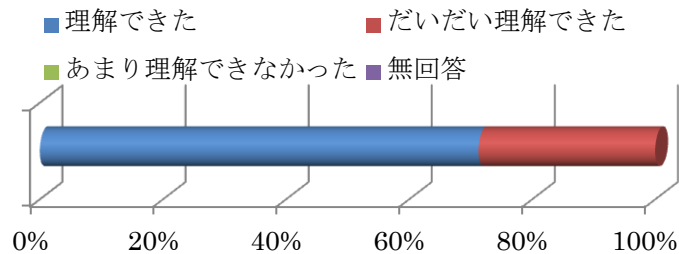


大分県医療コンフリクトマネジメント研究会 平成 28 年度講演会集計結果

Q 1. 時間配分はいかがでしたか？



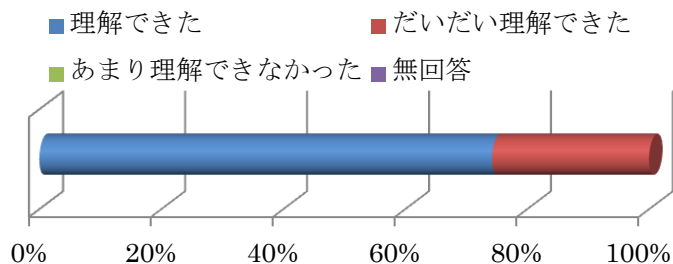
Q 2. 特別講演は理解できましたか？



【ご意見】

- ・不安を多くさせられる内容でした。
- ・記録の大切さ、明確さを改めて思いました。
- ・貴重な事例の紹介でした。
- ・現場での注意の視点など考え方がわかった。
- ・求められる医療水準によって予見と回避がいかに重要であるのか改めて分かった。
- ・事例を確認でき良かった。ほとんどの例が責任をとられると感じた。
- ・結果予見、危険回避 出来れば、比較的違法になることがないと感じた。
- ・わかりやすい解説だった。
- ・とてもわかりやすく聞かせていただきました。
- ・スライドがあるとよかった。

Q 3. 基調講演は理解できましたか？

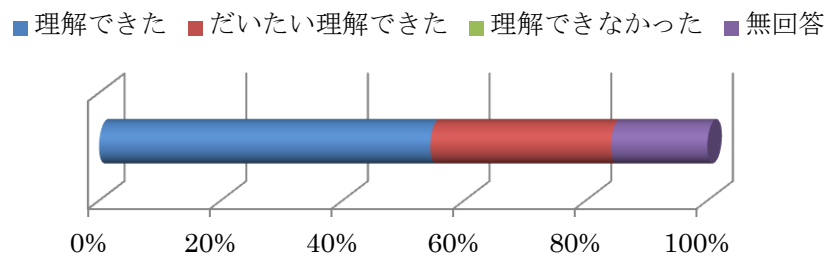


【ご意見】

- ・内容が幅広く、具体策等についてもっと詳しく知りたかった。

- ・もっと話を聞きたい。
- ・具体的な対策もあり、わかりやすかった。
- ・統計的なところがわかり良かった。
- ・様々なデータを使用されていて、危険なことが理解できた。対策の方法も KYT など訓練の必要があると感じた。
- ・資料参考が文字が小さく残念
- ・聞きたいポイントを聞けたので、ありがたいと思いました。
- ・大変わかりやすかった。
- ・リスクアセスメントを介護施設に導入したいと思った。
- ・もう少し、字が大きいとよかったです。

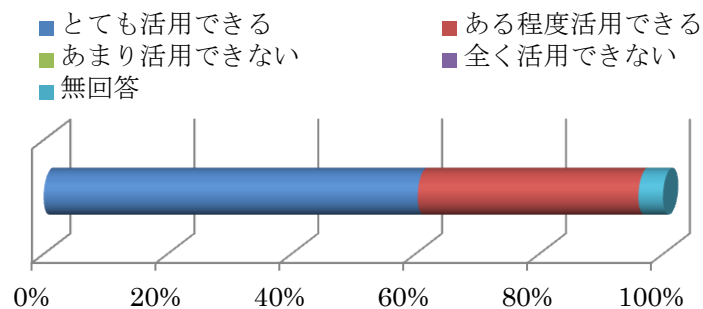
Q 4. パネルディスカッションは理解できましたか？



【ご意見】

- ・参考にしたい取り組みがあったので、可能な限り資料提供してほしいです。
- ・岡病院の対策を聞いてスゴイと感じました。当院でもできることからやっていきたいです。
- ・岡病院の安部副主任の P26 3点セット、当院でも取り入れていきたいと思ます。
ありがとうございました。
- ・岡病院の転倒に対する、細かな分類で使用する物品を変更したりすることはすばらしいと感じる。
- ・いろいろところで施設の状況に応じてたくさんの工夫がなされていることが参考になりました。

Q 5. 今回のセミナーは、今後の業務に活用できると思いますか？



Q 6. 今後とり入れて欲しいテーマやご意見など、何でもお書きください。

1	・誤嚥など転倒以外の事故もとりあげて頂けるとうれしいです。
2	・薬剤投与（注薬・内服）に関する医療事故防止について
3	・今回のテーマ 転倒・転落に関する内容は当院でも今年度取り組んでいるテーマであり、大変興味深く参加していきたいと思います。急性期病院、慢性、回復期病院により対策の違いはありますが、

	<p>基本の考え方は参考にしていきたい。</p> <p>裁判事例の報告は大変役立ちます。今後 Pt 講演（各施設の知り組みを参考にしたいので、資料に出してもらえると助かります。） 薬剤関係事例もお願いしたい。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全と倫理（人権）は相反する場面が多く、現場ではジレンマを感じている。 <p>患者・家族の理解と協力、医療者側の思いと対応—もやもやした思い…みなさんはどのように対処しているのでしょうか。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒転落のリスクは件数が多い。当病院でも今日、講演会で学んだ事を現場に実施・導入できたらと思います。転倒チームを多職種と連携して取り組む事も参考になりました。次回もこういう講演会に参加したいと思います。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・与薬に関するアクシデント
7	<ul style="list-style-type: none"> ・内服薬の患者間違いですが、従来より、名前をなのってもらい、フルネームで確認しましょうと言って、取り組んでますが、全く誤薬が減りません。これは、この対策自体が十分ではないと思います。もっと効果的な対策に取り組んでいる施設の話を知りたいです。 <p>今回の講演会はとても良かったです。ありがとうございました。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士さんより事例を聞くことで、危機意識が重要であることが高く感じた。テーマとして「誤嚥によることでの窒息事故」裁判事例を含めて。 <p>本日の研修は有意義であった。ありがとうございました。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンエラー対策に関するもの
10	<ul style="list-style-type: none"> ・「記録」～何をどこまで書けばいいのか。「チームステップス」「事例分析」
11	<ul style="list-style-type: none"> ・できること、できないことを最初にしっかり提示できるようにしようと思いました。 <p>ありがとうございました。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの取り方
13	<ul style="list-style-type: none"> ・裁判事例（誤薬、手術により後遺障害）
14	<ul style="list-style-type: none"> ・岡村先生の講演はとても理解しやすいため、もう少し時間を長くしていただければ有難いです。 ・地域という点で今後の対象者が医療者だけに限定するのでしょうか。市民を含めた開催をする事も重要であるのかと思いました。 ・今後は活動報告だけでなく 評価や分析を含めて報告
15	<ul style="list-style-type: none"> ・各 HP などの実際していること（転倒対策）をもっと具体的に話を聞きたかった。資料に組み入れてほしかった。 ・肺炎、イレウスに関して講演を聴きたい。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・参考になる意見が多かったです。とても充実した研修でした。ありがとうございました。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者への転倒対策や関わりについての勉強会
18	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の患者がふえてきている。 ・誤嚥性肺炎または肺炎 ・無理をいつてくる fa の対応
19	<ul style="list-style-type: none"> ・結論でない本日のテーマでした。（当施設も悩んでいます）このテーマ、時流に合うように発信してもらえればと思います。何度か続けてほしいと思います。今日は大変参考になりました。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・講演ありがとうございました。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒・転落に関する対策はすごく難しいと感じました。患者のアセスメントはするものの、その通りになるわけではないので、いつどこで事故が起こってもおかしくないのだと思います。 <p>医療裁判の事例では「ちょっとなら大丈夫だろう…」と言う気のゆるみによって発生していると感じました。 アセスメント通りにならならいからこそ、日々の業務は気を引きしめて行いたいと思います。</p>
22	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は介護分野での具体的な事例などたくさん取り入れて頂きありがとうございました。本人、家

	族から求められる水準が適当（適切）なのか？といった本当に日々現場で悩んでいるテーマでわかり易かったです。
23	・関心の少ない、医療スタッフへのコンフリクトマネジメントの考えの普及に向けての対策に対する取り組みは？
24	・事例とおしての理解ができたので、今後も続けてほしい。
25	・渡邊先生のお話の中で「インシデント、アクシデントレポートは宝。トップの方がぜひ参加しなければならない」というお言葉。本当にありがたい言葉でした。現場の現実としてトップ、管理職の理解が乏しいのが実情です。このような医療安全にとって大切な事をもっともっと広めてほしい。医療安全管理者は、とても苦しんでいます。 インシデント報告の意義を理解されていない人もいます（トップ、管理職）そのため、インシデント報告に時間を要さないようにとの意味もわかりますが、それ以前の事も加えたうえで説明してくれないと理解していない人は、言葉のいい所のみをとり解釈されます。そのことも加えて説明をされると助かります。
26	・事例については、各病院・施設でそれぞれ工夫されていると思います。事例の共有がとりくみの共有はとても大切に思います。 今後も年1回はテーマとしてとりあげてほしいと思いました。
27	・関係ないチラシはいらないと思う！（毎回いらない）どこかの企業とセットですか？ 講演会はとてもよかったです。
28	・薬剤関連の取り組みについて
29	・他病院や他施設の転倒予防方法や転倒予防グッズを知る事ができて勉強になった。
30	・裁判事例しか公開されていないと思いますが、判決にいたらず、示談になったケースを知りたい。（事例・金額など）（もちろん違法にならない範囲でのプレゼンになるとは思いますが） 岡村先生、いつもありがとうございます。勉強になります。
31	・引き続き、医療安全について希望します。

コンフリクト 事前申し込み職種別（世話人・事務局含）

看護師	76	53.1%	
事務	8	5.6%	
不明	11	7.7%	
リハビリ	18	12.6%	
MSW	2	1.4%	
メディカルスタッフ	4	2.8%	薬剤師(2)・放射線技師・柔道整復師
医師	21	14.7%	
一般	3	2.1%	
	143		

